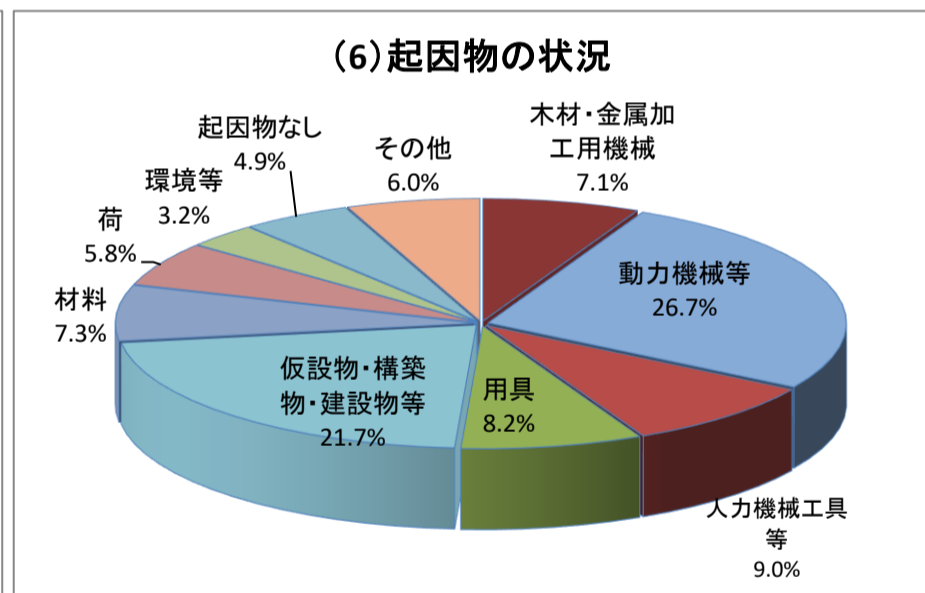
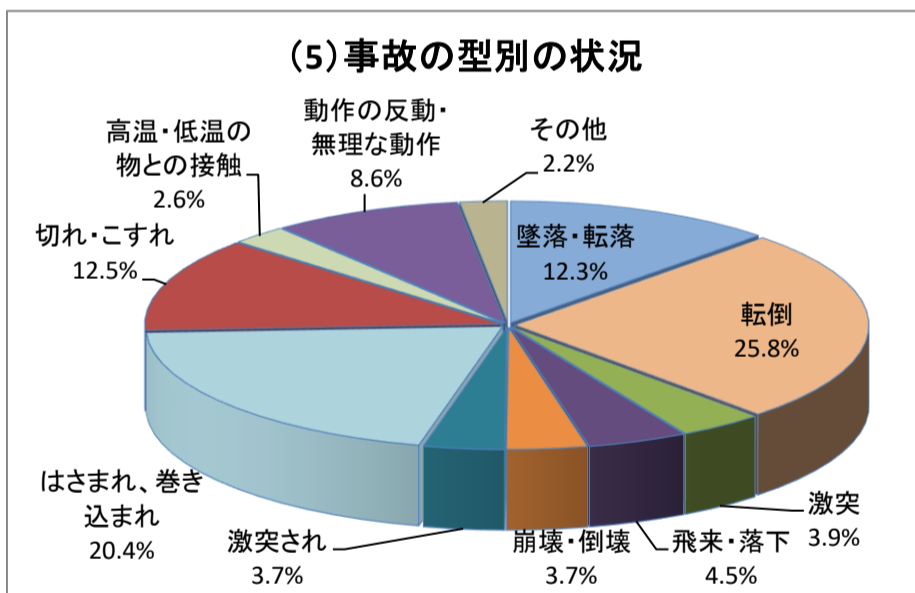
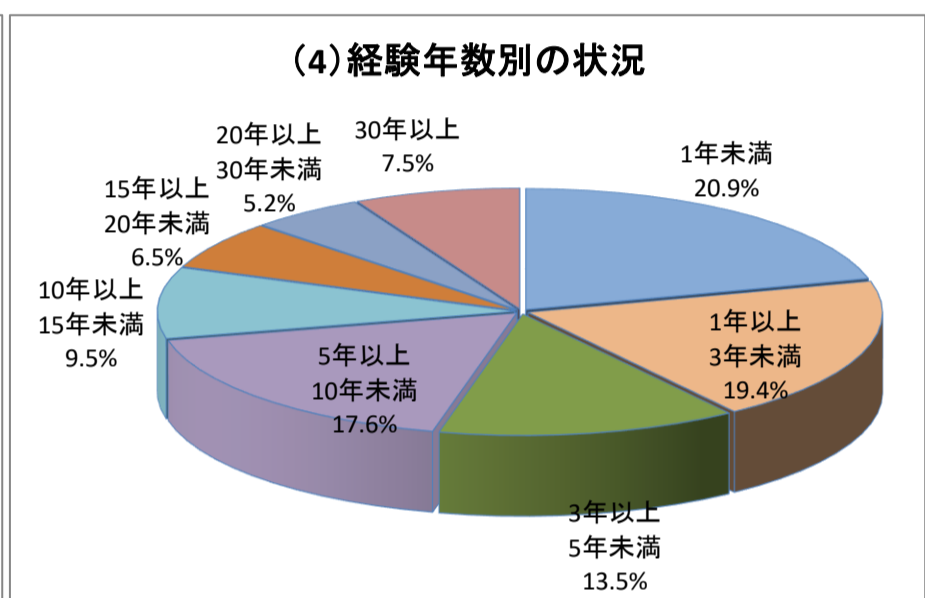
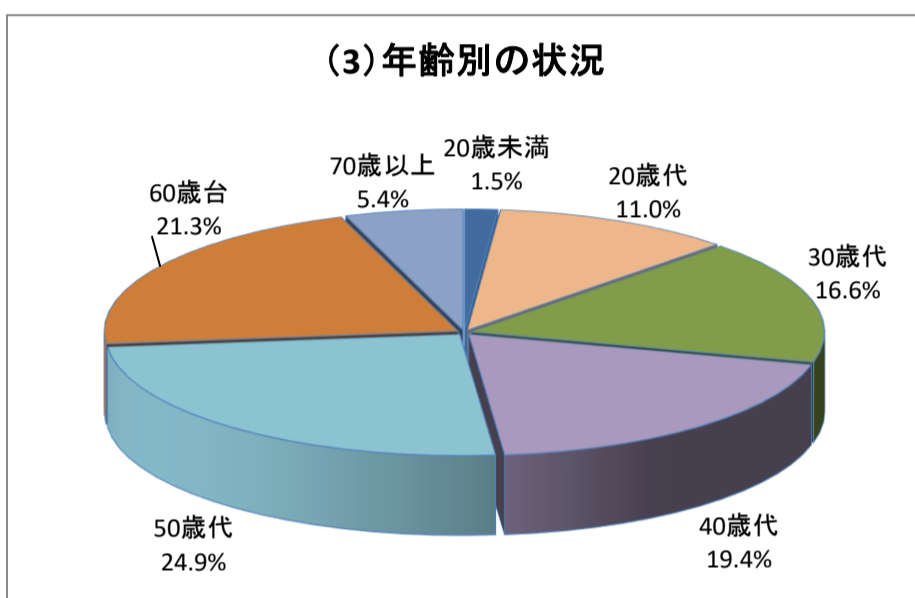
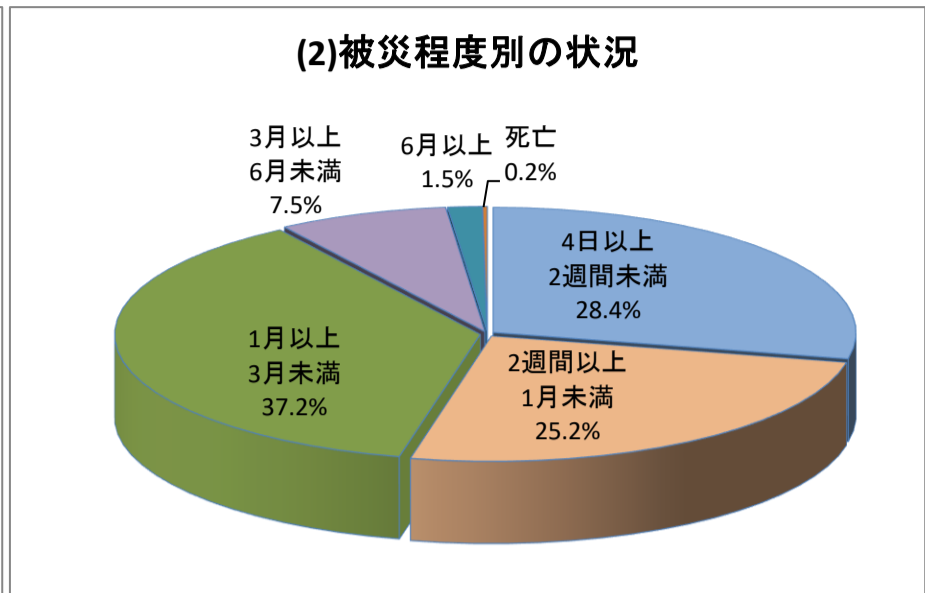
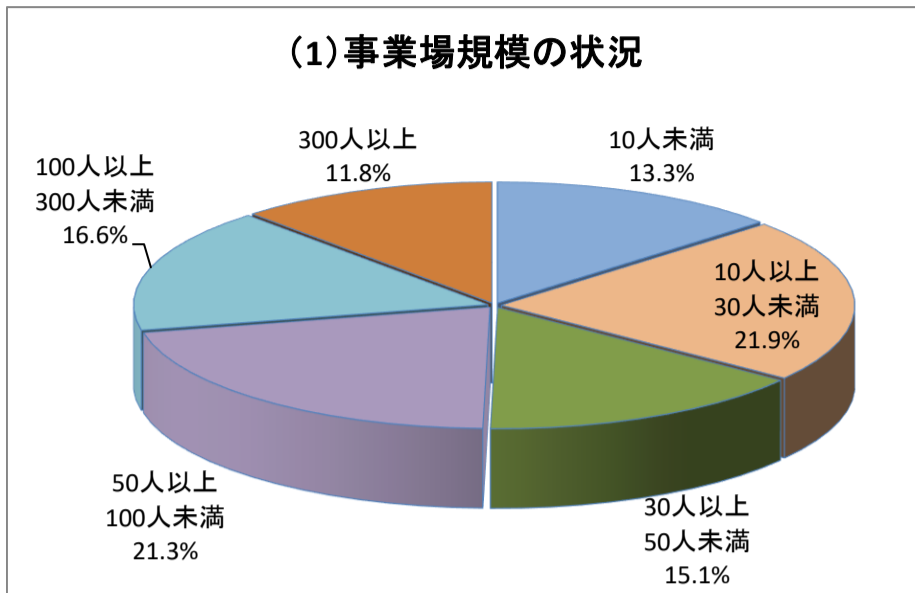


13.製造業における労働災害発生状況(令和元年)

(製造業:465人)



1. 事業場規模別では、「10人以上30人未満」の事業場が21.9%と最も多く、次いで「50人以上100人未満」が21.3%、「100人以上300人未満」が16.6%、「30人以上50人未満」が15.1%の順となっている。50人未満の事業場が50.3%を占めている。
2. 被災程度別では、休業日数「1月以上3月未満」の災害が37.2%と最も多く、次いで「4日以上2週間未満」が28.4%、「2週間以上1月未満」が25.2%の順となっている。休業日数が1月未満の災害は53.6%、3月未満の災害は90.8%となっている。
3. 年齢別では、「50歳代」が24.9%と最も多く、次いで「60歳代」が21.3%、「40歳代」が19.4%の順となっている。60歳以上は26.7%を占めている。
4. 経験年数別では、「1年未満」が20.9%と最も多く、次いで「1年以上3年未満」が19.4%、「5年以上10年未満」が17.6%の順となっている。
5. 事故の型別では、「転倒」が25.8%と最も多く、「はさまれ・巻き込まれ」が20.4%、「切れ・こすれ」が12.5%、墜落・転落が12.3%の順となっている。
6. 起因物別では、「動力機械等」が26.7%と最も多く、「仮設物、建築物、構築物等」(通路等)が21.7%、「人力機械工具等」が9.0%の順となっている。(※「動力機械等」は、一般動力機械(食品等加工機械、ロール機等)、動力クレーン等、動力運搬機等の合計)